

端末の「活用率向上」から「効果的な活用」に向けて

「日常的な」活用から

「より効果的な」活用へ

子ども

- ・ 1日1回は使う。
- ・ 様々な教科で使う。

ICT活用率の向上

ICTをほぼ毎日活用している児童生徒の割合 岡山市(全国)

	R4.4月		R6.4月		R6.7月
小6	15.7% (26.7%)	→	19.8% (25.3%)	→	43.8%
中3	6.8% (21.6%)	→	13.7% (31.0%)	→	26.2%
	全国学力・学習状況調査		全国学力・学習状況調査		市独自調査(抽出)

活用率の向上を進めながら

- ・ 短時間で多様な考えを共有する。
- ・ 収集した情報を整理してまとめやすくなる。

記述式問題の正答率の改善

記述式問題の正答率対全国比 (全国学力・学習状況調査)

	R4		R5		R6
小6	1.03	→	1.01	→	1.00 → 1.00以上
中3	0.99	→	1.00	→	0.99 → 1.00以上

全国学力・学習状況調査から分かる学習の課題

- ・ 自分の考えをまとめること
- ・ 知識を活用して深く考えること
- ・ 自分の考えが相手に伝わるように工夫して表現すること

学校

ICTの活用が進まなかった要因

- ・ 学校間でICTの活用に差がある。
- ・ 様々なソフトが混在しているため、好事例の共有が難しい。
- ・ ICTの操作に不慣れで、活用の良さを実感しにくい。

授業の質の向上

- ・ 共通のソフトの使用により、実践事例等を取り入れやすくすることで、子どもの主体的な学びが進む。
- ・ 意見の共有にかかる時間を短縮できるので、考えを深める活動により多くの時間を使うことができる。

教育委員会

岡山市共通のデジタルAIドリルと授業支援ソフトの導入

ソフトの使用方法に関する研修（全教員対象）の実施

ICT支援員による授業の提案、オンライン（メタバース）での相談

市内先進校（12校）による授業公開の実施 <参考資料2-1>

全国の活用事例をもとにした授業の提案 <参考資料2-2>

ICTを効果的に活用した実践事例の作成・収集・提供

端末の「活用率向上」から「効果的な活用」に向けて

市内先進校（12校）による授業公開の実施

「自分の考えをまとめる」

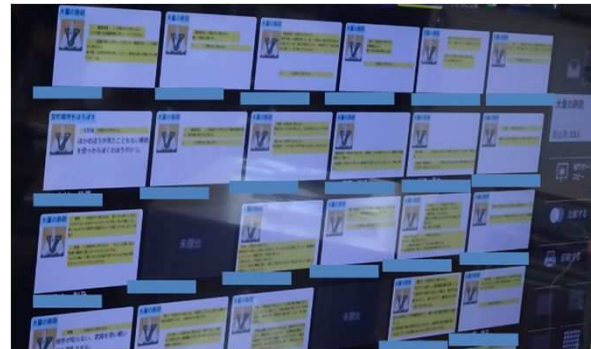
ワークシートや学習者用端末、教師の支援を受ける等、個々の児童が自分に合った学び方を選択して取り組む「個別最適な学び」を実現しようとしている姿



「知識を活用して深く考える」


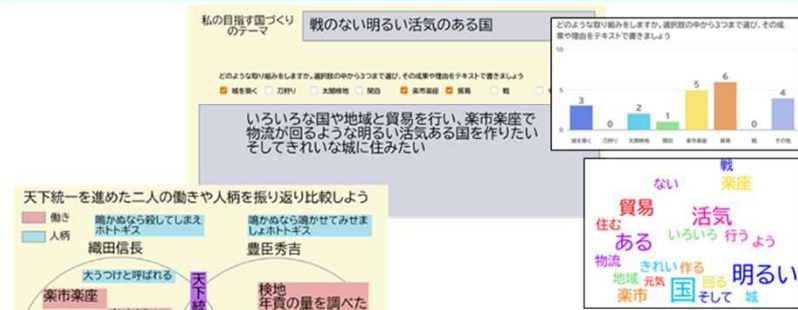
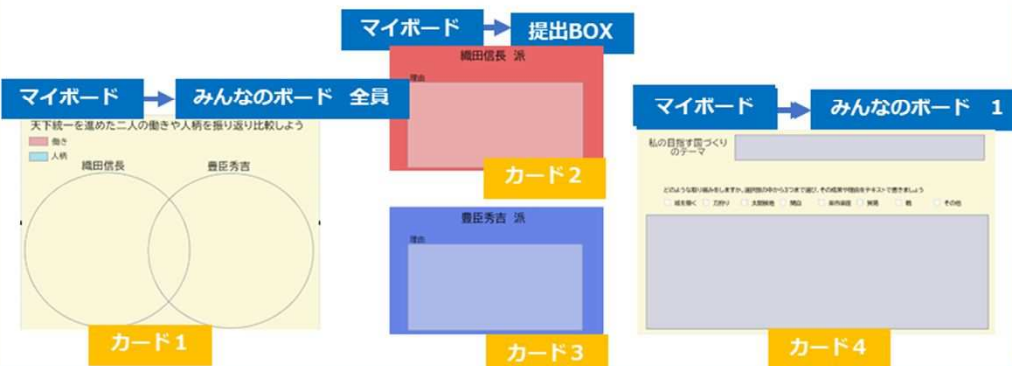
「自分の考えが相手に伝わるように工夫して表現する」

前時までにまとめた自分の意見を友達に説明する中で、グループで教科書等の資料から根拠を求めながら話し合ったり、全員で協議して作り上げたりすることで、「協働的な学び」を実現しようとしている姿



端末の「活用率向上」から「効果的な活用」に向けて

全国の活用事例をもとにした授業提案

区分	学年	教科	単元	時期	
小	6	社会	 戦国の世から天下統一へ	10月	
授 業 内 容	<p>めあて：天下統一を目指した二人は、どのような働きをしたのか、調べてきたことを整理し、話し合おう</p> <p>天下統一を進めた二人の働きや人柄を振り返り、図に整理し比較します カード1：ベン図を使い二人の働き整理し比較します。みんなのボードに送り考えを共有し、カードをさらに整理します</p> <p>天下統一の「貢献度」や「どちらがすごいかなど」を選択するカードです カード2,3：発問内容に応じて、どちらかのカードを選択し理由を書き提出BOXに送り他者の意見を共有します</p> <p>主体的に国づくりを目指す取り組みを考えるカードです カード4：自分が目指す国づくりのテーマを決め、二人の取り組みを軸に選択肢から選びその成果や理由を書きます キーワード集計や選択肢集計などを元に最も重要な取り組みを話し合います</p>			<h3>授業での活用例</h3> 	
				<h3>先生の声</h3> <p>・図やグラフを使って単元のまとめを整理し楽しく学ぶ事ができた。比較や選択などを使用すると思考が理解しやすく、主体的に考えを発信する場面でも面白い意見がでた。</p>	
	<p>使用ツール</p> <p>オクリンクプラス ワード集計 比較 選択肢集計機能・キー</p>			<h3>情報活用能力</h3> <p>・収集した情報を目的に応じて比較・分類、関連づけや組み合わせを行うことができ、傾向を読み取ったり、自分なりの考えや意見をもつことができる。</p>	

不登校児童生徒の支援のための取組

新規不登校について

〔岡山市の取組の方針〕 新規不登校児童生徒の抑制が不登校児童生徒数の減少につながる。

【目標】 新規不登校児童生徒(小・中の合計)の出現率 0.47%以下 → 令和5年度 1.35%

目標は未達成

不登校について(参考)

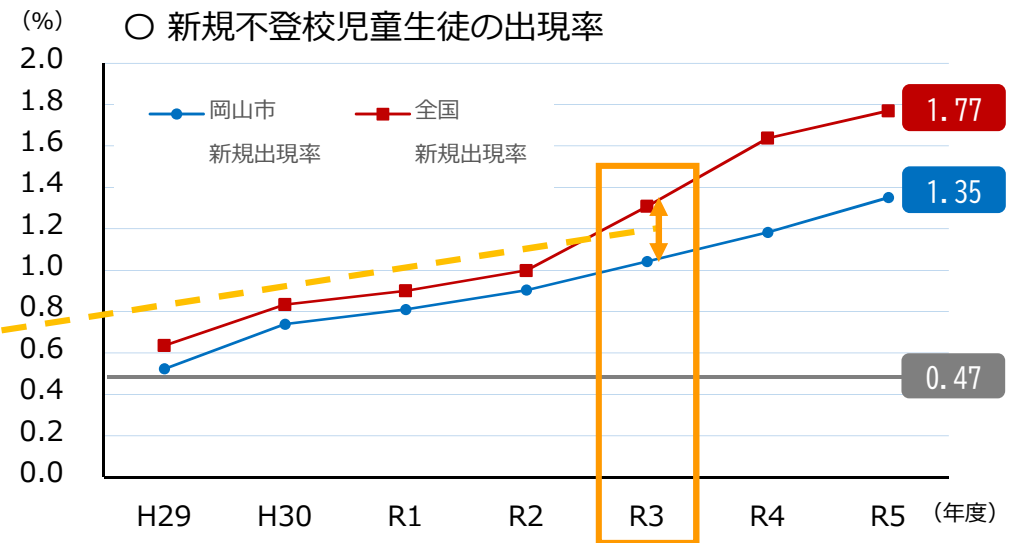
不登校児童生徒(小・中の合計)の出現率 3.11% (政令市で2番目の低い数値) 全国の出現率 3.72%

※ 不登校：年間30日以上欠席した児童生徒のうち、何らかの心理的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にある者(ただし、病気や経済的な理由により欠席した者を除く)

【傾向】 岡山市の新規不登校児童生徒の出現率は、全国同様増加傾向であるが、増加率は全国と比較して緩やかである。

【取組】 令和3年度から、各学校で、不登校を理由とした年間10日以上欠席した児童生徒を対象として、「個別の支援計画」の作成を進める。

【分析】 新規不登校児童生徒の出現を抑制するために、不登校を理由とした欠席が30日になる前に、「個別の支援計画」を作成・活用することが効果的であると考える。



個別の支援計画の作成率

	小学校	中学校	小・中合算
R3	90%	86%	87%
R4	87%	82%	83%
R5	90%	89%	89%

不登校児童生徒の支援のための取組

【第2期教育大綱の目標達成のための取組】

- 関係機関と連携して、不登校の取組強化に向けた学校への指導・助言や支援の充実
- 校内の別室を活用した校内支援教室における支援の充実
- 岡山大学との連携・協働体制の強化

○ 相談機関等で専門的な相談・指導等を受けた実人数（令和5年度不登校児童生徒数 岡山市：1633人）

機 関	小学校	中学校	小・中合算		全国 割合
			人数	割合	
児童生徒支援教室	82	68	150	9.2%	8.8%
教育相談室	43	64	107	6.6%	7.4%
こども総合相談所、地域こども相談センター	112	71	183	11.2%	4.3%
保健所、精神保健福祉センター	5	18	23	1.4%	0.5%
病院、診療所	174	105	279	17.1%	12.6%
民間団体、民間施設	104	52	156	9.6%	4.5%
上記以外の機関等	27	26	53	3.2%	1.9%
	395	314	709	43.4%	33.9%

【さらに充実させる取組】

子どもたち一人ひとりの丁寧なアセスメントを行うために、相談機関等との連携をさらに強化する。
 ※ 教職員の取組を測る新たな指標として、「専門的な相談・指導を受けた児童生徒の割合」に着目する。

【期待される効果】

適切なアセスメントによる「個別の支援計画」を作成し、新規不登校児童生徒の抑制を図るとともに、不登校児童生徒の個々のニーズに応じた居場所を確保し、多様な学びの場につなげることができる。

個々のニーズに応じた居場所の確保に向けて

学校における居場所（学習・生活のサポート、学校の体制づくり）

教室

特別支援教育の視点を生かした授業づくりを軸に、すべての子どもにとって教室が知的好奇心を育む場へ

校内支援教室（SSR）

校内支援教室（SSR）での、個別の支援により、教室復帰へのエネルギー充填の場へ

アセスメントに基づく支援計画
（不登校理由で年間10日以上欠席）

子ども・保護者

◆校内での児童生徒の実態把握

- ・ASSESSの実施（年3回）
- ・心の健康観察

◆支援を必要とする児童生徒へのサポート・学校の体制づくり

- ・不登校児童生徒支援員の配置
- ・SCの配置
- ・特別支援教育支援員、生活支援員、看護支援員の配置
- ・学校支援アドバイザーの配置

◆ICTによる居場所づくりの推進

- ・不登校児童生徒に対する授業配信
- ・欠席児童への連絡ツール

◆スポット訪問による支援

- ・大学教授や臨床心理士等の専門家によるアセスメント

学校外における居場所（市）

相談員・専門相談員による教育相談

岡山市教育相談室

訪問相談

（相談員による家庭訪問）

アウトリーチ

（公民館等での相談支援）

ふれあい親の会

（不登校児童生徒の親を支える会）

社会的自立に向けた支援 個別・少人数・集団活動

児童生徒支援教室（5施設）

<あおぞら操山> 小集団活動、教育相談室の併設

<トラングルー宮> 小集団活動、単独施設

<ラポート牧山> 体験型活動、オンラインで支援

<すまいる瀬戸> 環太平洋大学と連携した活動

<そよかぜ平福> 小学生を対象とした個別活動

民間施設等による居場所

フリースクール等

子どもを支える関係機関

- ・岡山市こども総合相談所
- ・岡山市地域こども相談センター
- ・発達障害者支援センター
- ・医療機関
- ・警察 等

不登校の状況

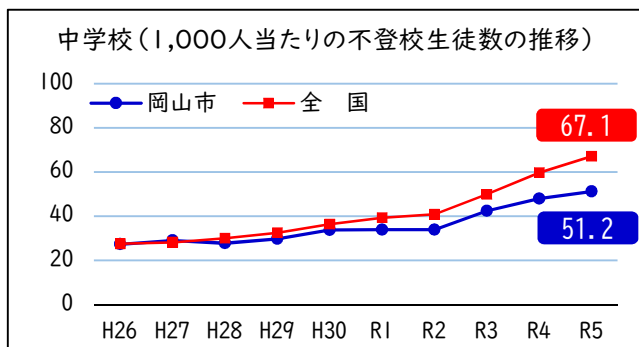
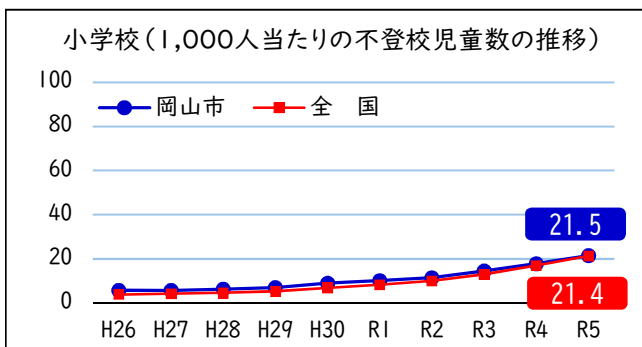
- 不登校児童生徒数が、小学校・中学校ともに増加した。
- 新規不登校出現率が、小学校・中学校ともに増加した。
- 1,000人当たりの不登校児童生徒数が、政令市の平均より下回っている。
- 不登校出現率が、政令市の中で2番目に低い数値であった。

(1) 長期欠席児童生徒数 ●1,000人当たりの不登校児童(生徒)数=不登校児童(生徒)数/全児童(生徒)数×1,000

小学校	長期欠席児童	理由別人数							1,000人当たりの不登校児童数		
		病気	不登校			新型コロナウィルスの感染回避	その他	岡山市	全国	政令市	
			90日以上欠席	出席日数10日以内	出席日数0日						
R3	1,345	88	534	248	47	11	265	458	14.6	13.0	13.8
R4	1,569	116	651	346	74	13	97	705	17.9	17.0	18.2
R5	1,461	543	761	432	66	14		157	21.5	21.4	22.7

中学校	長期欠席生徒	理由別人数							1,000人当たりの不登校生徒数		
		病気	不登校			新型コロナウィルスの感染回避	その他	岡山市	全国	政令市	
			90日以上欠席	出席日数10日以内	出席日数0日						
R3	1,453	291	736	551	125	40	154	272	42.5	50.0	54.4
R4	1,594	345	822	601	157	46	96	331	48.0	59.8	65.0
R5	1,550	581	872	665	160	49		97	51.2	67.1	73.8

※令和3、4年度の長期欠席児童生徒は、「出席停止・忌引き等」の日数も加えて計上



(2) 新規不登校出現率

●新規不登校出現率(%)=新規不登校児童(生徒)数/全児童(生徒)数×100

小学校	新規不登校児童数	新規出現率
R3	306	0.84%
R4	324	0.89%
R5	380	1.07%

中学校	新規不登校生徒数	新規出現率
R3	256	1.48%
R4	308	1.80%
R5	329	1.93%

小・中合算	新規不登校児童生徒数	新規出現率
R3	562	0.90%
R4	632	1.04%
R5	709	1.35%

(3) 学年別不登校児童生徒数

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小合計	中1	中2	中3	中合計	小・中合計
R3	33	54	61	120	122	144	534	196	297	243	736	1,270
R4	35	67	88	111	174	176	651	226	293	303	822	1,473
R5	57	66	109	130	173	226	761	210	291	371	872	1,633